



Bangladeshへ行ってきました。
 今回の訪問は1月31日～2月15日までの15日間
 7人のメンバーでした。

ツアーの成果

去年の課題（右の枠を参照）を改善するため、教育理念を準備しました。こんな教育をしたいという基本的な考えを示しました。周りの友人たちに意見を求めた所、ワンドロップがこんな学校を作りたいという意図がはっきりしているといふと賛成してくれる人もいましたが、・このような理念はこうだと押し付けるのはどうか。現場の人々から出る意見こそ大事ではないか。だから、話し合ってきたべきだ。・文言はりっぱすぎて気恥ずかしいぐらいだ。本当に現地にこの理想的な考えを提示するのかとあきれられたりもしました。

教育理念をゼロから現地と協議して決めていては何年かかってもできないし、たたき台を提示しないことには進まないと思ひ、準備した理念をほとんど修正せずに英訳し、ベンガル語に翻訳してもらいました。まず、現地のパートナーのタリクさんとヤスミンさんの同意を得ました。ただ、タリクさんは大事なことはあるが、Bangladeshでは無理ではないかという感触でした。ヤスミンさんもOKではあるもののあまり重要な問題ではないという認識でした。どうも、現地の人たちは自国の教育の考え方についてあまりいい評価はないようです。

今回のスタディツアーで先生たちとのミーティングの時、これを提示するとすんなりと賛成を得ました。「とてもよい」と言われました。でも、後で知りましたが、この賛同は支援をする側（ワンドロップ）への忖度のような気もしています。でも、学校を変えたいという気持ちが強く、先生方にこの理念を提示した上でたくさんの小さな改革を進めました。

1. 学級文庫を1年、2年にも設置しました。これで全学年に設置したことになります。本の数も増やしました。本を読む楽しさを味わい、みんなで使う「物」を大事に扱うことを学びます。

* 去年の課題

①教室環境（掲示物等）がすっきりしません。トイレや水道付近にも校庭にもごみが目立ちます。②生徒たちの表情にも以前のはじける笑顔が見られません。あいさつがぎこちないし、声も小さいです。③そして、一番に感じるの先生たちの教育力です。生徒のことを考えた対応があまりなされていないように感じます。授業時間なのに先生が不在だったり、授業のプランがしっかりできていない先生もいます。学校にいる先生や用務員など大人の存在は子どもたちに影響を与えます。いい大人のモデルであってほしいものです。

ニュースレター (2022, 08, 05) から抜粋

2. ランチをよそってもらうときは「ありがとう」を伝える。今までは早い者から食べていましたが、クラス全員がそろいのを待って先生と「いただきます」（ビスミッタ）を言って食べます。給食時間も先生の指導の時間であるという認識をもってもらえます。食事の様子で生徒の家庭での様子も知ることができます。

3. 運動会を各学年3つまたは4つのグループに分けグループ対抗で競う。これまでは、運動能力の高い個人がいくつも賞品を独り占めしていたのを、グループ対抗とすることで協力、思いやりなどの気持ちを育てることができました。



4. 授業の開始と終了の

ベルの係を事務員のセリーナさんにしてもらう。こうすることで授業にメリハリがつけました。子どもたちも休憩時間にトイレに行けます。時間を守ることはとても大事です。まず、先生から。

5. ワンドロップ小学校の先生2人を連れて近くの女子高へ行きました。先生たちは他の先生の授業を見てその様子を自分の学校の先生たちに伝えました。また、その日に学校内の授業研修もしました。学び合う、指摘し合う、教育力を高め合うという気持ちを感じてもらえました。

6. 教室内をきれいにするため、サンダルは教室の外で脱ぐようにし、サンダルもきちんとそろえるという指導をしました。生徒が他の生徒のサンダルをきれいにそろえているのを見てうれしくなりました。

7. トイレのスリッパを購入しました。清潔だし、トイレ内がきれいになります。

私たちの2週間の滞在で新しく始めた活動はすべて、今回の教育理念の具体的な実現です。少しずつこの理念が浸透し、先生と子どもたちが意識できるようになれば、とても楽しい学校生活が送れると思います。

今回提示した教育理念は以下の通りです。
このベンガル語訳は現在各教室の黒板横に掲示しています。

Majumder OneDrop Elementary School が目指すもの

学校はよりよい大人になるために学ぶ場所です。

よりよい大人とは、

1. 相手のことを考える、優しい人。
2. 誰かを助けることが喜びと思える人。
3. 自分の意見を持って自ら進んで行動する人。
4. 将来に夢や希望を持ってそれを実現するために努力する人。
5. 健康で意思が強い人

生徒のみなさん、次のことを守ってください。

楽しい学校生活をおくるために。

1. 時間を守る。
2. 感謝の気持ちを伝える。まず、ありがとうから。
3. 自分を清潔にする。
4. 教室、学校、持ち物をたいせつに扱う。
5. ともだちをたいせつに。助け合う。教え合う。注意し合う。

今後の課題

ツアーの最終日にマジウンダーワンドロップ小学校の職員たちと個別面談を行いました。労使交渉です。なかなか本心を明かしてくれないなという想いは残りましたが、次回7月のツアーでどのように学校が変わっているかを見たいという気持ちを伝え、給料アップは次回に見送りました。

バングラデシュは最近、インフレが進み、物価が上昇しています。すべての人たちの生活は苦しくなっています。ワンドロップ小学校の先生方の生活も苦しいことは推察できます。

生徒たちの家庭の生活も苦しくなっています。身体測定で見る限り、身長体重ともに低く、栄養的に問題があると思います。

バングラデシュ経済の不況は現地のパートナーであるタリクさんのビジネスにも悪影響を与えています。マジウンダーワンドロップ小学校ができて、もう8年になります。ワンドロップはずっと学校の運営に携わり、学校が継続運営できるように日本国内でバザーや募金活動をメインに資金を集めています。いずれは現地に運営すべてをゆだねるといふ時期はまだ先のように思われます。

今は、一年、一年を凌いで学校運営を続けていくことが大事なのだと考えています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、帰国後、2月26日に報告会を開催しました。22名のサポーターの皆さんが熱心に報告を聞いてくださり、アンケートには応援をしたいと感想を書いてくださいました。

ワンドロップは今後も、楽しい学校づくりを目指して支援を続けてまいります。

日本での活動である写真展やイベントでの出店など、今後の予定を以下に記載します。HPやブログ、フェイスブックで発信していますので、都合が合いましたら、どうぞご参加ください。

OneDrop(バングラデシュ教育支援の会)代表
大西 登志子

今後の予定

- ・3月12日きすみのマルシェでカレーの販売をします。(小野市、鍬溪温泉)。
- ・3月21日加東市市民のつどいで写真展をします。(加東市、とどろき荘)
- ・3月26日湯ぴか温泉の朝市でバングラデシュ紹介をします。ビリヤニとチャイ、民芸品販売
- ・4月15日～29日まで小野市役所にて写真展
- ・5月12日～22日までびいプラスにて写真展(加古川市寺家町商店街)
- ・5月25日～31日までみっきいホールにて写真展(三木市役所)

(注)：上記以外にも随時イベント等の予定が入ることがあります。イベントのお知らせはライン配信でお伝えしています。是非、ラインで友達登録をしていただけますようお願いいたします。登録はHPから。

ワンドロップのHP <https://onedropbangladesh.jimdofree.com/>

ワンドロップのブログ <http://onedropangla.seesaa.net/>

FaceBook <https://www.facebook.com/groups/266407081009954>